



2024年4月15日

各 位

会社名 中部水産株式会社
代表者名 代表取締役社長 脇坂 剛
(コード番号 8145 名証メイン)
問合せ先 経理部長 白井 敬人
TEL (052) 683-3000

(訂正・数値データ訂正) 「2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、2023年8月10日に公表しました「2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に一部訂正すべき事項がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2024年4月15日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年8月10日

上場会社名 中部水産株式会社 上場取引所 名
コード番号 8145 URL <https://www.nagoya-chusui.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇坂 剛
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 臼井 敬人 TEL 052-683-3000
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,909	10.0	83	99.1	154	45.9	149	79.2
2023年3月期第1四半期	8,100	0.8	41	△55.3	105	△28.7	83	76.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	89.28	—
2023年3月期第1四半期	47.33	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	15,479	12,549	81.1
2023年3月期	15,039	12,306	81.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 12,549百万円 2023年3月期 12,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	3.2	290	145.1	400	65.4	280	△12.4	167.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	1,926,900株	2023年3月期	1,926,900株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	253,548株	2023年3月期	253,548株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	1,673,352株	2023年3月期1Q	1,761,116株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5月には2類から5類へ移行されるなど、社会経済活動の正常化が進んだ一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、原材料や光熱費の高騰、物価上昇による消費の減退など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、売上高は、経済活動の正常化につれて外食需要が回復したことや、魚価の上昇などにより、全体で8,909百万円(前年同四半期比10.0%増)となりました。経常利益は、前第1四半期累計期間に農林水産省が公募した新型コロナウイルス感染症の影響で販路を失った水産物に対する助成金制度を利用したことで売上総利益が減少した結果、154百万円(前年同四半期比45.9%増)、四半期純利益は149百万円(前年同四半期比79.2%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、海水温や海流の海洋環境の変化などが起因と考えられる漁獲量減少の影響もあり取扱数量は減少しましたが、外食産業の回復や養殖魚を中心に量販店に対する商品の企画提案に取り組んだ結果、まぐろ、帆立貝柱、いわしなどが堅調に推移し増収となりました。

塩冷加工品は、国際的な需要増加や漁獲量減少、円安による仕入価格の上昇もあり、原料の供給懸念から加工業者向け原材料の引き合いが強く、冷さけ、冷いかなど原料販売の取り扱いが増加となりました。

この結果、売上高は8,738百万円(前年同四半期比10.0%増)、営業利益は91百万円(同71.2%増)となりました。

(冷蔵倉庫部門)

外食産業向け商材に回復がみられたことから入庫が順調に推移した結果、売上高は112百万円(前年同四半期比7.7%増)、営業利益は33百万円(同24.2%増)となりました。

(不動産賃貸部門)

主な事業である賃貸マンションが順調に稼働した結果、売上高は59百万円(前年同四半期比8.0%増)、営業利益は42百万円(同12.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、15,479百万円となり、前事業年度末に比べ439百万円(2.9%)増加しました。これは主に、売掛金114百万円、投資有価証券140百万円、現金及び預金132百万円の増加によるものです。

負債は、2,929百万円となり、前事業年度末に比べ196百万円(7.2%)増加しました。これは主に、買掛金90百万円の増加によるものです。

純資産は、12,549百万円となり、前事業年度末に比べ243百万円(2.0%)増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金169百万円、利益剰余金74百万円の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、2023年5月12日発表の通期の業績予想は変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,790,268	3,922,613
売掛金	1,701,388	1,815,898
有価証券	496,020	598,696
商品	3,075,129	3,054,333
貯蔵品	7,218	7,020
その他	12,290	11,623
貸倒引当金	△8,120	△9,241
流動資産合計	9,074,194	9,400,944
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	666,209	656,419
土地	1,955,249	1,955,249
その他(純額)	34,923	32,711
有形固定資産合計	2,656,381	2,644,380
無形固定資産		
53,468		48,498
投資その他の資産		
投資有価証券	2,902,099	3,042,594
関係会社長期貸付金	90,000	90,000
その他	961,247	947,736
貸倒引当金	△697,678	△694,930
投資その他の資産合計	3,255,668	3,385,400
固定資産合計	5,965,518	6,078,279
資産合計	15,039,713	15,479,224
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,776,672	1,866,770
受託販売未払金	112,762	87,857
未払法人税等	38,601	32,380
賞与引当金	60,856	34,450
役員賞与引当金	11,805	—
その他	161,485	301,301
流動負債合計	2,162,183	2,322,759
固定負債		
退職給付引当金	300,016	292,894
その他	271,234	313,888
固定負債合計	571,251	606,782
負債合計	2,733,434	2,929,541

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	<u>9,923,614</u>	<u>9,997,710</u>
自己株式	<u>△856,388</u>	<u>△856,388</u>
株主資本合計	<u>11,562,998</u>	<u>11,637,093</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	743,280	912,588
評価・換算差額等合計	<u>743,280</u>	<u>912,588</u>
純資産合計	<u>12,306,279</u>	<u>12,549,682</u>
負債純資産合計	<u>15,039,713</u>	<u>15,479,224</u>

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	8,100,425	8,909,661
売上原価	7,669,467	8,438,101
売上総利益	430,957	471,559
販売費及び一般管理費	389,044	388,117
営業利益	41,912	83,441
営業外収益		
受取利息	2,331	2,897
受取配当金	51,214	53,414
その他	13,258	14,487
営業外収益合計	66,803	70,799
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	2,994	—
雑損失	—	0
営業外費用合計	2,994	0
経常利益	105,721	154,241
税引前四半期純利益	105,721	154,241
法人税、住民税及び事業税	16,019	35,010
法人税等調整額	6,340	△30,165
法人税等合計	22,359	4,845
四半期純利益	83,362	149,395

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに
収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	7,941,197	104,558	—	8,045,756	—	8,045,756
その他の収益	—	—	54,668	54,668	—	54,668
外部顧客への 売上高	7,941,197	104,558	54,668	8,100,425	—	8,100,425
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	31,031	—	31,031	△31,031	—
計	7,941,197	135,590	54,668	8,131,456	△31,031	8,100,425
セグメント利益	53,451	26,618	38,154	118,224	△76,312	41,912

(注) 1 セグメント利益の調整額△76,312千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	8,738,025	112,609	—	8,850,635	—	8,850,635
その他の収益	—	—	59,026	59,026	—	59,026
外部顧客への 売上高	8,738,025	112,609	59,026	8,909,661	—	8,909,661
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	34,087	—	34,087	△34,087	—
計	8,738,025	146,697	59,026	8,943,749	△34,087	8,909,661
セグメント利益	91,508	33,067	42,998	167,575	△84,133	83,441

(注) 1 セグメント利益の調整額△84,133千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。